

府高教 ニュース

2021年8月30日(月)

速報 No. 1

発行所：大阪府立高等学校教職員組合
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館707号
☎06(6768)2106 FAX 06(6768)1675
http://osaka-fuko.dyndns.org/
eメール osakafko@jn3.so-net.ne.jp

島本・茨田・泉鳥取を募集停止 府教委が再編案を発表

道理ない高校つぶし(案)は撤回せよ

—学教審中間報告を受けて西成・岬をモデル校に指定

◆最終決定は11月の教育委員会会議

府教委は8月30日の教育委員会会議で、「府立学校条例、再編整備計画に基づく令和3年度実施対象校(案)」を示し、「様々な意見を踏まえ、11月の教育委員会会議で最終決定する」としました。

その内容は、「3年連続して志願者が定員に満たない状況が続いている」ことを理由に、島本高校、茨田高校、泉鳥取高校の3校を、23年度から募集停止し、島本高校は阿武野高校に、茨田高校は野崎高校に、泉鳥取高校はりんくう翔南高校に、それぞれ「機能統合」というものです。

また、8月27日付で出された学教審(大阪府学校教育審議会)の中間報告を受けて、「ともに学び、ともに育つ」教育をより具体的・実践的な仕組みで行う府立高校を設置するとして、西成高校、岬高校の2校をモデル校に指定しました。23年度にモデル校で先行実施、24年度から本格実施するとし、府域における実施校の配置を検討するとしています。

◆公立高校の「定員」はゆとりがあつて当たり前

そもそも、子どもたちの「学ぶ権利」を保障するために設置されている公立高校の「定員」にはゆとりがあつて当たり前です。府教委は、毎年「進学セーフティネット」として、公立・私立の募集数の合計が進学予定者数を上回ることを確認しており、先に入試を行う私立の一部が定員をはるかに上回る合格者を出しているもどで、「志願者が定員に満たない」公立高校が生ずるのは制度上の必然です。また、学区が撤廃され、府域全体で偏差値による競争と序列化が進められたもどでは、府の周辺部の学校にゆとりが出るのも避けられません。こうした地域の学校が募集停止・廃校となれば、子どもたちの「学ぶ権利」が侵害され、地域社会の活力も奪われます。

「3年連続定員に満たなければ再編整備の対象」などと、一片の道理もない府立学校条例を制定し、財政効率最優先で公立高校つぶしをすすめる維新府政、それに追随する府教委の姿勢は断じて許せません。道理のない高校つぶし案は撤回し、少子化をチャンスに、20人学級に向けた少人数学級の実施、学校の小規模化など、一人ひとりに行き届いた教育条件へと改善を行うべきです。

◆阪南市長が泉鳥取高校の存続求め要望書提出

教育委員会会議では、阪南市長から泉鳥取高校の存続を求める要望書が出されていることも報告されました。要望書は、泉鳥取高校が「地域振興を支える人材の輩出に重要な役割」を果たし、「市の地域活性化や市政充実に大きく貢献」してきたとし、市内唯一の高校が廃校になれば「府南部地域の生徒や家庭のセーフティネット」が奪われる、「都市格を形成する観点」からも「無くてはならない重要施設」と述べ、「存続を強く要望する」としています。こうした地域の思いを踏みにじることは許されません。

◆学教審の「中間報告」は極めて不十分

一方、「今後の府立高校のあり方」について審議している学教審の中間報告は、「府立高校が、入学者選抜で高倍率となる学校と志願割れの学校に二極化している」ことを課題としながら、その根本原因である競争主義・効率優先の教育施策については一切触れず、「学区撤廃で受験者の流動化が活発になった」「各校の特色についての理解が十分浸透しなかった」などの認識にとどまっています。そして、「障がいを持つ生徒、支援を要する生徒」の入学が増加していることに着目して、①「ともに学び、ともに育つ」教育についてインクルーシブ教育システムの考え方を踏まえより具体的・実践的な仕組みで行う府立高校の設置、②府立高校と支援学校の併設などの検討を求めています。知的障害を持つ生徒が増加し、支援学校の過大・過密が大きな問題となっているなか、府立高校を、支援を要する生徒の「安上がりな受け入れ先」とすることはあつてはなりません。子どもたち一人一人の成長・発達を保障する条件整備が必須です。

一方で、日本語指導が必要な生徒、家庭環境や経済状況に困難を抱えた生徒への対応として、SSWや専門人材の配置の必要性に言及していることは評価できます。審議会は、年内に「答申」をまとめるとしており、引き続きその動向を注視することが求められます。

9・18決起集会に参加しよう!

府高教は、「大阪の高校を守る会」と連携し、道理のない高校つぶしを許さない取り組みに引き続き全力をあげます。当面、9月18日(土)午後1時半から、府教育会館8階「たかつ西」で行われる「道理のない高校つぶしに反対する決起集会(仮)」に総決起しましょう。